

2022 年度

授業概要

科目名	装具演習			授業の種類	講義/演習	講師名		
授業回数	45回	時間数	90時間 (3単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制4年	必修・選択	必修	
〔授業の目的・ねらい〕 これまで学習した基礎医学、障害評価学、採型技術、適合技術および適合評価学、接遇、を総合した実技試験を行なう。各ステーションごとに設定された課題、身体評価から装具処方・設計、採型・採寸、適合評価を行なう。また、義肢装具士国家試験およびISPOに即した内容も踏まえ、カテゴリ-1レベルの評価・処方を学ぶ。								
〔授業全体の内容の概要〕 装具系科目の集大成として、客観的臨床能力評価テスト（OSCE）を実施する。各ステーションごとに装具処方のための障害評価、装具設計、採型そして適合評価の技術・知識・接遇を評価する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 これまで学習した基礎医学、障害評価学、装具学、採型技術、および適合評価学、接遇、を総合した実習が遂行できる。ステーションごとの各課題を行うことができる。また、ISPOに即した内容も踏まえカテゴリ-1レベルの評価・処方ができる。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	オリエンテーション							
3	演習問題 調べ学習とまとめ							
4	演習問題 調べ学習とまとめ							
5	演習問題 調べ学習とまとめ							
6	演習問題 調べ学習とまとめ							
7	演習問題 報告会							
8	演習問題 報告会							
9	演習問題 報告会							
10	演習問題 報告会							
11	演習 身体評価							
12	演習 身体評価							
13	演習 身体評価							
14	演習 身体評価							
15	演習 身体評価							
16	演習 身体評価							
17	演習 身体評価							
18	演習 身体評価							
19	演習 身体評価							
20	演習 身体評価							
21	演習 採型・採寸・設計							
22	演習 採型・採寸・設計							
23	演習 採型・採寸・設計							
24	演習 採型・採寸・設計							
25	演習 採型・採寸・設計							

2022 年度

授業概要

科目名		装具演習			授業の種類	講義/演習	講師名	
授業回数	45回	時間数	90時間 (3単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制4年		必修・選択	必修
回数	講義内容							
26	演習 採型・採寸・設計							
27	演習 採型・採寸・設計							
28	演習 採型・採寸・設計							
29	演習 採型・採寸・設計							
30	演習 採型・採寸・設計							
31	演習 適合・歩行評価							
32	演習 適合・歩行評価							
33	演習 適合・歩行評価							
34	演習 適合・歩行評価							
35	演習 適合・歩行評価							
36	演習 適合・歩行評価							
37	演習 適合・歩行評価							
38	演習 適合・歩行評価							
39	演習 適合・歩行評価							
40	演習 適合・歩行評価							
41	実技試験							
42	実技試験							
43	実技試験							
44	筆記試験							
45	筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
装具学 第4版	加倉井周一 編	医歯薬出版
義肢装具学第4版	編集 川村次郎	医学書院
義肢装具のチェックポイント 第8版	日本整形外科学会 日本リハビリテーション医学界	医学書院
検査法資料	三田校	三田校

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

終講実技試験：OSCE実技試験、終講筆記試験でそれぞれ60%以上で認定